

富富富 特報

1. JAみな穂管内の生育状況(7/16 現在)

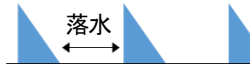
本年は、平年に比べ、草丈は平年並、 m^2 当たり茎数はやや多く、葉色は平年並、葉令の進みは平年並で、幼穂形成期は5/14頃の田植えで7/14頃となる見込みです。本年の詳しい生育経過は裏面をご参照下さい。
(展示ほ数4か所)

年度	田植日	草丈(cm)	茎数(本/ m^2)	葉令	葉色	幼穂形成期	出穂期
R6	5/14	69.0	564	12.5	4.1	7/14	8/6(見込み)
平年	5/15	68.4	519	12.3	4.1	7/14	8/6

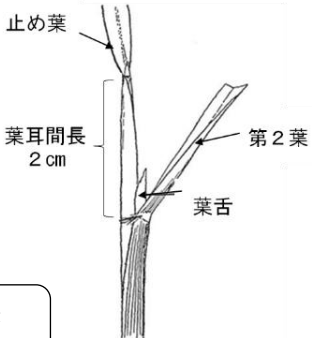
2. 今後の管理

(1) 水管理

- ①幼穂形成期まで ⇒ 落水期間を長めの間断かん水で葉色4.0程度に誘導。
 ②幼穂形成期～出穂期 ⇒ 稲体の活力を維持するため、飽水管理を実施。
 ただし、葉色が濃い場合は間断かん水を実施。

幼穂形成期頃の葉色	水管理の方法	イメージ
4.0程度	飽水管理	 ※ほ場内の足跡に水が残る程度を維持
4.2以上	間断かん水	 ※2～3日間落水

【出穂8日前の稲】



- ③出穂期～出穂後20日間 ⇒ 田面が露出しない程度の湛水管理。
 ④刈取り5～7日前まで ⇒ 間断かん水で稲体の活力を維持。

(2) 穂肥

【一発肥料の場合】

○原則として追加穂肥は施用しないでください。

ただし、出穂8日前(7/29頃)の葉色が4.2未満の場合、走り穂頃までに追肥3号で5～7kg/10a施用し、穂揃期の葉色を4.4に誘導します。

【分施肥系の場合】

区分	施用時期	肥料名	施用量
1回目	幼穂長1.5cm程度 (7月21日頃)	追肥3号	葉色4.0の場合 …5kg/10a 葉色3.8の場合 …7kg/10a
2回目	1回目の7日後	追肥3号	10kg/10a

葉色が濃い場合、追加穂肥を施用すると屑米が増え、収量、品質、食味が悪くなります。

(3) 防除(成分数)・・・農薬の成分使用回数12以内を厳守してください

防除時期		1回目 走り穂(8/3頃)	2回目 穂揃期(8/11頃)
		10a当たり散布量	10a当たり散布量
粉剤体系		ブラシントレバリダ粉剤DL 4kg(3成分)	ラブサイドキラップ粉剤DL 4kg(2成分)
液剤体系	乗用管理機	スタークル液剤10+モンカットフロアブル 1000倍+1000倍/100ℓ (2成分)	ラブサイドK2フロアブル 1000倍/100ℓ (2成分)
	ドローン	スタークル液剤10+モンカットフロアブル 8倍+8倍/0.8ℓ(2成分)	ラブサイドK2フロアブル 8倍/0.8ℓ(2成分)

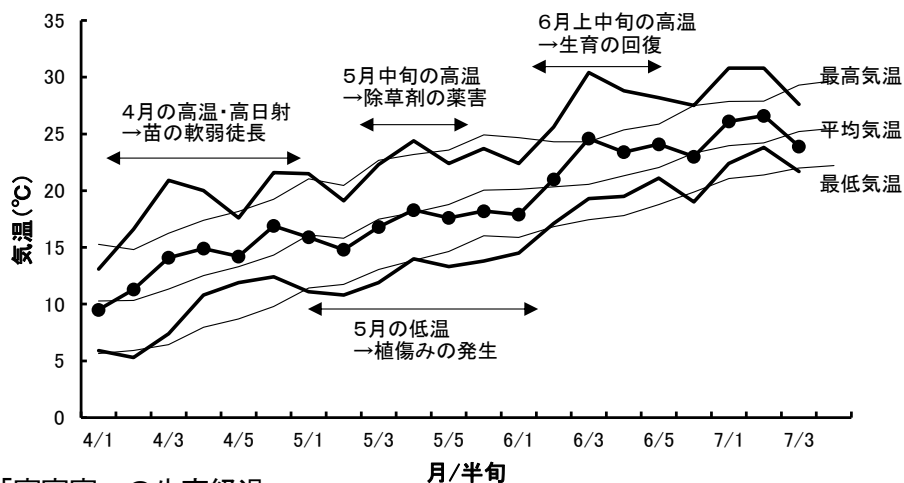
※全ての薬剤の使用は収穫14日前まで

※無人ヘリ防除は、コシヒカリと同時の防除を予定

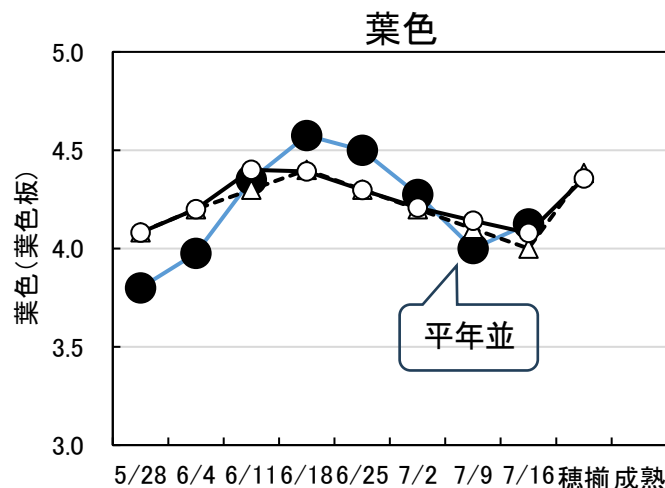
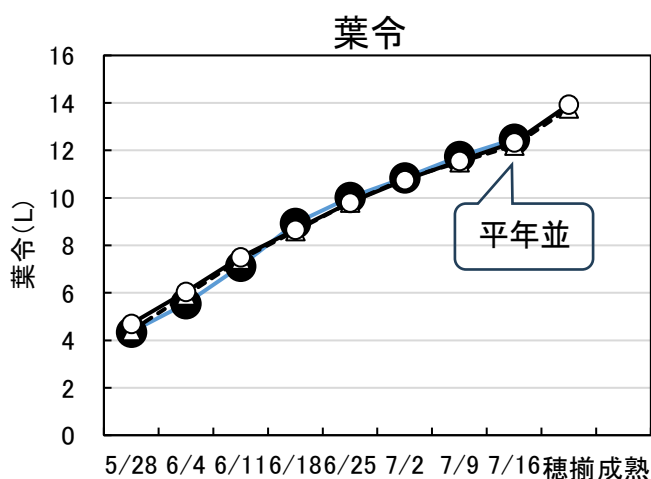
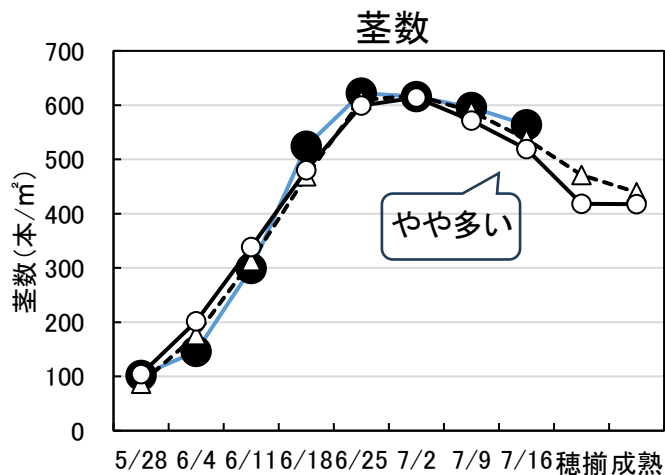
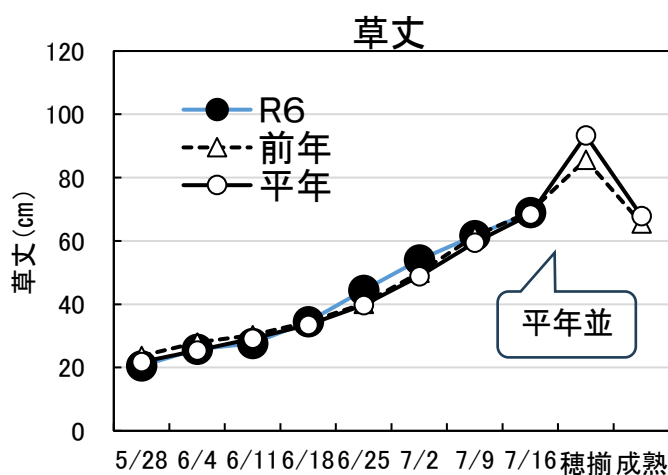
裏面へ

3. 富富富の生育経過

(1) 田植後の気象経過



(2) 「富富富」の生育経過



富富富生産のお約束

- 栽培マニュアルの順守
- 種苗の譲渡・自家採種の禁止
- 流通基準に基づく区分出荷・販売
- 収穫物の区分管理、農産物検査
- 生産者協議会に参加し、必要に応じて指導を受ける